

## グループホーム「櫻」第16回運営推進会議議事録

日時 平成22年6月29日(火) 14:00～14:50  
場所 グループホーム「櫻」 2F 1号室  
出席者 運営推進会議委員  
逗子市福祉部 介護保険課長 舘 兼 好  
社協：地域包括支援センター管理者 渡 邊 誓 子  
ご家族代表 原 メイ子  
(委員5名中2名欠出席)  
医療法人社団柏信会 総看護部長 岩 木 和 子  
グループホーム「櫻」 管理者 菅 谷 弘 子  
事務長 遠 藤 勝 三

### 会 議 概 要

#### 1. 開会の辞

定刻、管理者は各委員に本日の出席を謝すとともに、当法人の角野理事長が所用のため出席できない事、及び委員2名の欠席を伝えると共に、本日、委員会初参加の岩木総看護部長及び出席委員の自己紹介をお願いした。

管理者は自己紹介終了後、議事の進行及び報告等を事務長に指示。

事務長は配布資料を確認した後、会議次第の報告事項のうち「スプリンクラー設置工事完了報告」から行うことを伝え出席者の了承を得た。

#### 2. 議題

##### (1) 報告事項

運営状況(現況)等について

##### ア スプリンクラー設置工事完了報告(資料)

事務長は、参加者を施設内の設置状況および消火ポンプユニットについて、資料の工事図面により各部屋、屋外で概要を説明後、会議室に戻り資料により以下の補足説明を行った。

5月連休明けの6日から工事が始まり順調に推移し、工事予定表より早めに完了、6月11日に消防署の検査も終了し業者より引継ぎを受けました。今後、逗子市(福祉課)への事業報告及び補助金の請求手続が完了すれば懸案の作業が終了します。

イ 入居者の現況及び活動状況について（資料）

入居者の年齢は最低74歳、最高96歳で平均年齢は誕生日の関係で0.33歳高くなりましたが大きな変化はありません。

介護度については認定更新もあり、介護度4から2へ、介護度3から2へ軽くなった方が居られます。介護度4から2に変更になった方については、再度区分変更を検討しております。

入居者の行政別では逗子市が17名、新宿区1名です。

なお、本資料作成後、不幸にも転倒骨折で市民病院に手術入院、現在青木病院に転院リハビリ中の方が1名、病気入院により退所された方が1名の移動があった旨を補足した。

活動状況は「さくら」便りの写真により概要を説明、写真は1ヶ月遅れで掲載されているが、横須賀ベルニュー公園や湘南国際村など花の時期に合わせ可能な限り、外気浴の機会を多くするよう努めている。

ウ 消防訓練実施状況と今後の訓練のあり方について（資料）

4月30日実施した消防訓練実施計画及び結果報告書により概要を報告。特に夜間帯の勤務従事者を重点に、想定される諸動作の行動が取れるか、一人ひとり実施させ、最後に総括し今後の資とした旨を細くした。

今後の消防訓練のあり方は、スプリンクラーの設置により、初期消火活動もさることながら、避難誘導を最優先とし利用者の安全確保を如何にすべきかが課題となる。関係官庁のアドバイスを受けながら今後の課題に取り組んでいくことになった。

(2) その他

意見交換：質疑応答の主な内容について記述した。

Q 「櫻」の現在における入居希望者の待機状況は

A 現在3名の方が正式に申し込まれ待機しております。

これは入居順の待機ではなく入居審査の連絡順番です。

申込者のその時点の状況により最後の方が入居することも在り得るということです。

Q 入居希望家族への勉強会などは、その必要性は、施設の受け入れ状況と施設同士の紹介等について

A 「櫻」としては、施設見学を奨励、その時点で必要な情報を提供している。施設同士の紹介としては当施設見学時に、他施設の情報を提供、ご家族の選択肢を広げている。

#### 4 . 閉会の辞

議案等の終了を見届け予定時刻前ではあったが、管理者は各委員に対し次回の開催を確認（月末の火曜日）すると共に、本日の出席を謝し閉会を宣した。